

地域の皆さまとつなぐ医療の輪

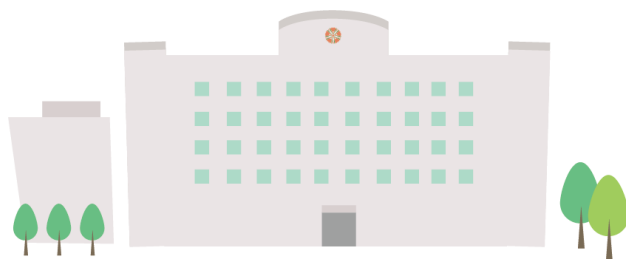
連携だより

No. 20

2018.11

Contents

特集：ICU/CCU
入院サポートセンター



社会福祉法人 Saiseikai Utsunomiya Hospital

恩賜
財団

済生会宇都宮病院

・巻頭のご挨拶	-----	事務部副部長(兼)地域連携課長 荻津守	P.2
・ICU/CCUのご紹介	-----	集中治療科 阿野 正樹	P.3-4
・入院サポートセンターのご紹介	-----		P.5-6
・OPE室改修工事レポート	-----		P.7
・病診連携レポート(各種統計)	-----		P.8

済生会宇都宮病院理念

1. 医療サービス提供者として次の基本を守ります

- ・安全で信頼性のある医療を提供します
- ・医療を受ける方への権利と尊厳を尊重し、満足度の向上に努力します

2. 地域基幹病院として次の役割を果たします

- ・地域医療の向上に貢献します
- ・地域の医療福祉機関と密接に連携し、地域から頼られる存在になります



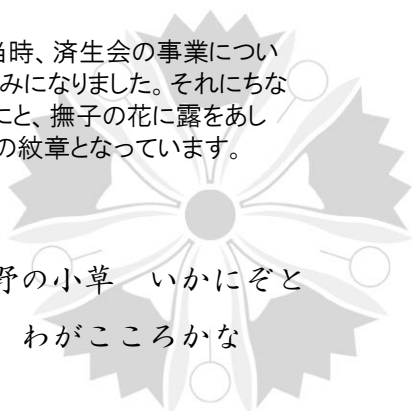
故名誉総裁
高松宮宣仁親王妃喜久子殿下 御書

初代総裁 伏見宮貞愛親王殿下は、創立当時、済生会の事業についてのお心を次のような「撫子の歌」としてお詠みになりました。それにちなんで、いつの世にもその趣旨を忘れないようにと、撫子の花に露をあしらったものが、大正元年(1912)から済生会の紋章となっています。

撫子の歌

露にふす 末野の小草 いかにぞと

あさ夕かかる わがころかな





巻頭のご挨拶 連携医の皆様へ



済生会宇都宮病院

事務部副部長(兼)地域連携課長

荻津 守

今年は例年になく酷暑に合わせ、変わりやすい天候が続いておりましたが、ここに来てようやく過ごしやすい季節となつてまいりました。先生方におかれましては、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より当院の地域連携業務に多大なご理解ご協力を賜り、そして多くの患者様の御紹介をいただき厚く御礼申し上げます。

前々回の「連携だより」にてご紹介させていただきました「新棟南館」も今年の9月でオープンよりはや1年を迎えることができました。おかげ様をもちまして南館に入る入院サポートセンター(PFM)、歯科(口腔ケア)、化学療法センターともに開設当初より順調な運用を行うことができております。入院サポートセンターにおいては、予定入院患者様への入院前オリエンテーションを行っており、必要に応じて薬剤師、リハビリ、歯科、MSW、退院支援看護師、管理栄養士などの専門スタッフと連携を図りながら質の高い安心・安全な入院医療の提供に努めております。歯科においては、当院にて今後手術を受けていただく患者様、入院中に誤嚥性肺炎等のリスクがある患者様に対し、口腔ケアに特化した診療の提供を行っており、感染症のリスク軽減に努めております。開始当初は週3日の診療となっておりましたが、対象疾患の拡大、需要の増加に伴い今年の10月からは週5日の診療体制へと変更し、多くの入院患者様にご利用いただいております。先にも述べました通り、当院の歯科は口腔ケアに特化しており一般的な歯科治療は行っておりません。そのため、当院での口腔ケア後に引き続き歯科治療が必要となる患者様には歯科連携医の先生方に治療の継続をお願いしております。

ご存知の先生方もいらっしゃると思いますが、現在当院では急性期機能の強化を目的とした院内改修工事を行っております。現在は第2期工事の最中であり平成30年2月より改修工事を行っておりました新ICU・CCUが無事に竣工し、平成30年8月5日より運用を開始しております。引き続き現在は手術室の拡張工事を行っており平成30年12月の完成を予定しております。新しい手術室は血管造影装置を備えたハイブリッド手術室、手術支援ロボットda-Vinciに対応できる手術室などの3室を増設し、12月からは合計13室が稼働することとなります。今回の「連携だより」において新ICU・CCUの紹介、手術室の工事状況の報告についても掲載しておりますのでぜひご覧下さい。

同じく、年度途中ではありますが当院の連携、救命センターなどの指標を掲載させていただいております。紹介件数は昨年度と比較し横ばいであり、当院への紹介件数の半数以上が連携医の先生方からいただく御紹介になっております。また、こちらには掲載しておりませんが、先生方から地域連携課にご依頼をいただく緊急の御紹介(緊急での入院、手術、検査等が必要な患者様の御紹介)の受入れ件数は年々増加傾向となっております。今後とも今以上に先生方のご期待にお応えできるような体制を構築して参りますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。当院へのご意見等ございましたら、ぜひ地域連携課までご連絡下されば幸甚でございます。末筆になりますが、先生方のますますのご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

ICU/CCU
オープン
記念特集

新ICU/CCUリニューアルオープン

平成30年2月より工事を進めていた新ICU/CCUが無事完成しました。



オープンベッド（患者さんの視認を重視し病室間の観察窓を設置）

当院は栃木県救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、基幹災害拠点病院、地域周産期母子医療センターなどの指定を受け、他院では治療が困難な重篤な患者さんを受け入れる高度急性期病院としての役割を果たしています。

これからもさらに安全で質の高い急性期医療を提供していくため、ICU/CCU（集中治療室）が今年8月にリニューアルオープンしました。



個室
（シーリングペンダント、无影灯設置）



説明室



家族控室

新ICU/CCUの特長

- ・広 さ: 1410㎡
旧ICU/CCUは約635㎡
- ・ベッド: 18床（個室13床オープンベッド5床）
旧ICU/CCUは16床
- ・設 備: 全室にシーリングペンダントを設置、
内2室には无影灯を設置



清潔で安全な空間に

ICU/CCUで治療を受ける患者さんはベッドサイドで様々な処置が必要です。今回のリニューアルで病室が広くなりました。十分なスペースが確保されたことによって、ベッドサイドでの処置を今まで以上に清潔で安全に実施できるようになりました。また、病室間に観察窓を設置することによって視認性が高まり、患者さんの観察がしやすくなりました。廊下も広く、3階手術室への直通エレベーターもあるため、術前術後のベッド移動もさらに安全でスムーズになりました。

早期回復のために

毎朝、主治医、集中治療科医師、看護師、薬剤師、理学療法士による多職種カンファレンスが行われ治療方針が決定されます。集中治療を必要とする重篤な患者さんは、病気が治った後も身体機能や認知機能が低下し、寝たきりになってしまうことも少なくありません。そのため、元の生活に戻ること为目标に早期からのリハビリにも取り組んでいます。

おわりに

十分なスペースを持つ先進的なICU/CCU完成しました。重篤な患者さんの命を救うことはもちろん、退院後の生活まで見据えた質の高い集中治療を提供できるよう、スタッフ一同努力して参ります。



筆者紹介

診療部 集中治療科
主任診療科長
あの まさき
阿野 正樹

【専門医認定等】

日本集中治療医学会専門医
日本救急医学会救急科専門医
日本呼吸療法医学会専門医
日本DMAT隊員 統括DMAT認定者
AHA ACLSコースディレクター
自治医科大学臨床教授
臨床研修指導医講習会受講済



はじめに

日頃より先生方には多くの患者様を当院に御紹介いただき誠にありがとうございます。当院は地域中核病院、3次救急医療施設として、1日に約40人から60人の新規入院患者様の受け入れを行っております。入院される皆様に、安心、安全な入院医療の提供、快適な入院生活を送っていただくことを目的として、新たに入院サポートセンターを開設し、今年の9月で1年が経過致しました。今回は、当院の入院サポートセンターについて御紹介をさせていただきます。

PFMの役割

当院の入院サポートセンターは、予定入院患者様への入院前オリエンテーションを実施しております。患者様にとって入院生活は、多くの不安を伴うと思われます。「どのような準備が必要なのか」、「普段の内服はこのまま継続して良いのか」、「麻酔はどのようなものなのか」、「費用はいくらかかるか」など内容は多岐に考えられます。そのような不安を少しでも解消して入院していただけるよう、当センターでは看護師、歯科衛生士、事務職員、その他各職種スタッフが連携を図り、患者様へ安心・安全な入院医療の提供と退院後の療養生活が不安なく送れるようにサポート致しております。

外来からの流れ

外来で入院が決定した患者様には、その足で当センターにお越しいただきます。入院申し込み等事務的な手続きを行って頂いた後に、当センター専従の看護師と面談を行っております。面談はプライバシーに配慮し全て個室にて行っております。面談では、入院時の持ち物、入院スケジュール、病棟案内、休薬について等の説明をさせていただき、主治医指示のもと、術前呼吸器リハビリ、口腔ケア等の予約日程の調整を行います。その他にも各種スクリーニングを行い、安全な医療の提供を心がけております。

患者様からのお話を伺い、必要に応じて、その場で薬剤師、管理栄養士、MSW、手術室看護師、退院支援看護師など専門職種との連携を図り、患者様の不安、疑問点の解消に努め、安心して入院当日を迎えていただけるような体制を構築しております。

おわりに

開設から約1年が経過し、患者様からも好評のお声をいただいております。今後も安心・安全な入院医療の提供に寄与できるよう、スタッフ一同精進してまいります。今後とも宜しくお願い申し上げます。

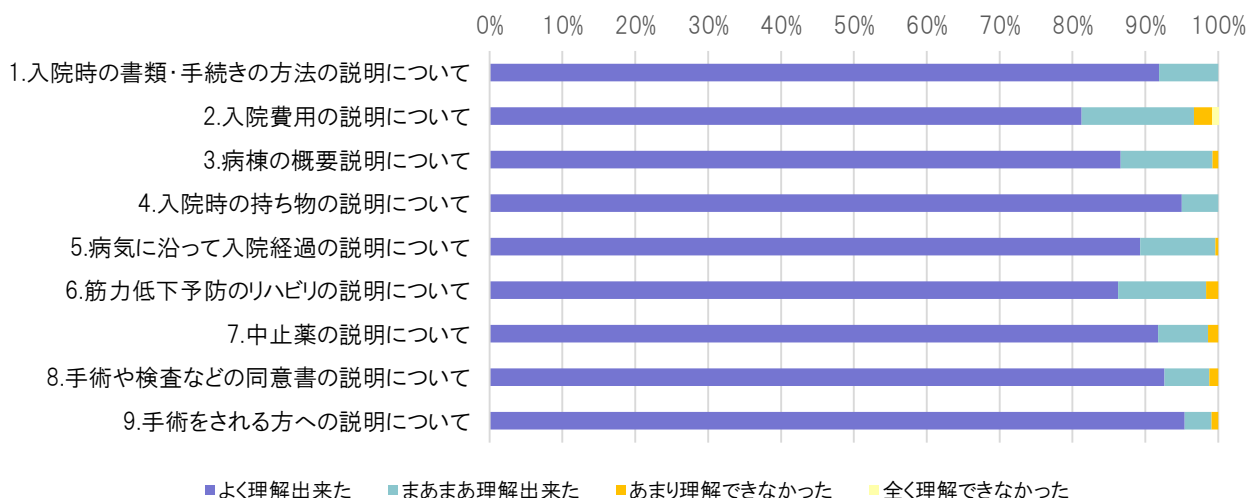


PFMを利用された患者様へのアンケート結果

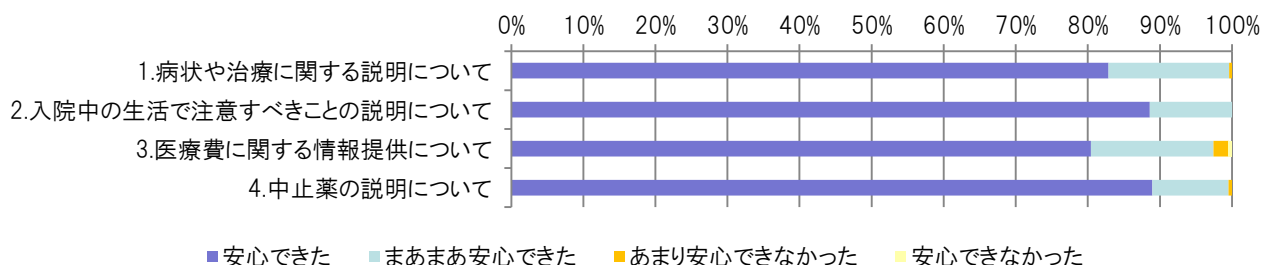
実施期間:2018年3月5日～3月17日

対象:入院サポートセンターで面談を行った全患者285名(回答率91%)

■入院サポートセンターの説明について



■説明による安心について



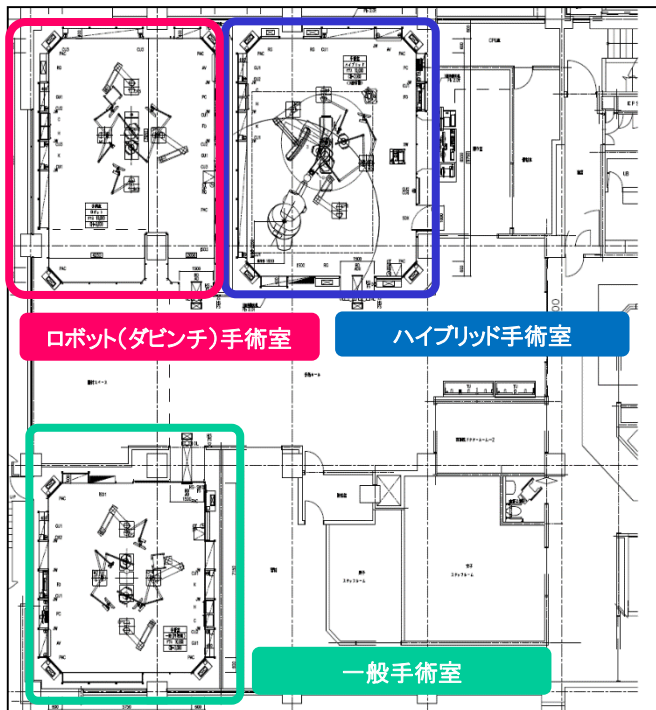
O P E 室改修工事レポート



当院は、安全で質の高い急性期医療を提供し続けるための機能拡充として、現在OPE室の改修工事を行っています。2018年8月に着工し、完成は12月中旬、稼働は1月を予定しております。

今回の改修では、血管撮影装置を備えたハイブリッド手術室、ロボット手術へ対応する手術室一般手術室を増室し、手術室総数は10室から13室になります。

増室する3部屋



血管撮影装置 ARTIS pheno



ロボット(ダビンチ)手術室 daVinci Xi

工事状況

耐震などを考慮しつつ、壁の解体作業が行われ、おおよその部屋の形ができてきました。12月の完成に向け着々と工事が進んでいます。

H30年 9月14日



H30年 10月30日



以下、当院の病診連携・診療状況についてご報告させていただきます。
（各年度ともに4～9月の月平均値にて表示しております）

連携

地域連携指標

項目	H28	H29	H30
紹介数	1,902	1,941	1,932
地域医療支援病院紹介率	83.3%	84.7%	82.9%
逆紹介数	1,410	1,382	1,377
逆紹介率	68.6%	67.1%	70.4%
紹介検査予約件数	219	234	231

H30年の紹介件数、紹介検査予約件数は昨年とほぼ横ばいで、高い水準をたもつことができました。これもひとえに先生方のご支援・ご協力あつてのことと心より感謝いたします。今後も地域の中核病院として、より円滑な連携の推進に努めてまいります。

診療

診療状況指標

項目	H28	H29	H30
延べ外来患者数	30,361	30,373	29,572
実入院患者数	1,386	1,450	1,451
救急患者数	1,305	1,284	1,261
救急車台数	459	469	530
平均在院日数	12.8	12.3	12.3
手術件数	563	595	592

外来患者数は減少傾向、入院患者数は増加傾向となっております。
救命救急センターの患者数は若干減少傾向ですが、救急車台数は増加傾向となっております。
また手術件数は昨年度に大きく増加し、今年度はほぼ横ばいとなっております。

● 患者さんのご紹介は、下記までご連絡ください

地域連携課

🕒 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時
土曜日：午前9時～午後12時

☎ TEL：028-626-5595
TEL：028-626-5674（画像連携用）

📠 FAX：028-626-5795（地域連携課直通）
✉ E-mail：renkei@saimiya.com

救急外来（時間外、日・祝日）

☎ TEL：028-626-5500



社会福祉法人 Saiseikai Utsunomiya Hospital

恩賜
財団

済生会宇都宮病院



🌐 www.saimiya.com/



日本医療機能評価機構

当院は日本医療機能
評価機構認定病院です